

# 道路ユーザーネットワーク広場

NETWORK NETWORK NETWORK NETWORK NETWORK NETWORK NETWORK NETWORK NETWORK NETWORK



ウェア・グッズ・バイク。『レイコ生前博物館』と化したカフェ店内。このテントでも書きたい!



ハリダカマシンの前で、賀曾利さんの『アフリカよ』と、地図にサインもして載りましたよ。



1968年からの足跡を記したカソリンブック。『もっとならば世界地図を塗りまくってやりたい!』そうです。

昨年末からバイクやキャンプ用品をじわじわと運び込んでいたら、あっといって間にアウト&インドア風に変身してしまった我がカフエ。自宅ではなくここからテント持って旅に出られるようになったからでしょうか、つい先日、私の旅の師匠がひょっこり訪ねてきてくれました。すぐにウェアに写真を載せると、常日頃から憧れているライダー達が次々と現れ、握手攻め! 「40年前に編集部でお会いしました」20年前に南信州で一緒にキャンプしたんです! 「昨年握手できなかったの」など、世代や性別を超えて人気のその人は、1947年生まれのカソリンこと賀曾利隆さん。

神奈川県伊勢原市在住ですが、「住所は地球」を地で行く旅人で、私がバイクでアフリカへ行くという夢を決定つけた張本人です。高校生の頃、本屋さんで賀曾利さんの著書が目にとまり、夢中になって読んだ「アフリカよ」と「極限の旅」。1968年からバイクでアフリカや世界一周した時の旅日記ですが、その出会いや困難を乗り越えていく様子がとても熱く、ディープリンク。世界を巡る旅は、結婚して子供ができて止まりません。赤ちゃんと連れてシベリア横断したり、パリダカ出たりのように行われる「カソリン」と行く海外(秘境 ツーリング)なるツアーは今も大盛況。サハリン・インドシナ半島・韓国・中国などのツーリングも書きがけでした。30代からは年代ごとに日本一周するのがライフワークになり、今年250(1967年製と

も東方西走中。60歳のというバイク。国内3000日3000湯 たまたま某人気テレビ番組で賀曾利さんという根っからの旅人。その旅の様子はいつもオートバイ雑誌に掲載されており、私が20代の頃には「同じ業界人」として頻繁にお会いしていました。これは朝まで番をして語らえる体力と好奇心。どんな時でも万人に分け隔てなく話し、「いえ〜い!!」と写真に収まる様子は、ポジティブ教の長なのですが、宗教色は皆無。サインの「生涯旅人!」そのもの。そんな賀曾利さんに今回初めて対面した安曇野市の伊東省一さんもまた、人生最良の日になったようです。賀曾利さんが最初にアフリカを旅した相棒は、スズキのスクランプラーTC250(1967年製と

賀曾利さんがおそろい一生懸命に思い込んでいたはずのTC250。再会した彼の驚く顔を垣間見れた伊東さん。その劇的な瞬間を、私はカフエでお客さんのサラダ作っていたので見られなかったのですが、見たら泣いちゃったかも。人生は縁と縁の交差点。ひたすら自分の道を歩いてきた人たちが笑顔になるポイントにいられる幸せをたっぷり味わっていた一日でした。

さて、今年の節分は、去年の「災」を打ち払って・・・との思いで目一杯、渾身の力で「鬼は外」と豆まきをした事と思います。そして、多くの人が、東北東に向かって一言も発せず、恵方巻にかぶりついた事でしょう。

また、販売人にとって二月は売れ行きが低迷する月(二月と八月)だそうです、インフルエンザの流行のおそれもあって、そんな中、受験シーズンでもあり、滑りぬよう

二月は年間で全国的にグッと冷え込む時期です。路面凍結、積雪、吹雪(ホワイトアウト)など、道路状況は危険がいっぱい。人もクルマも足元に注意!!

必要な時期なのに、あおり運転、進路妨害、怒鳴り込み、逆走など、一般道、高速道を問わず新たな動画が配信されていますね。悪い許さない! いつも言っている事ですが、捕者もでいるのに、不届き者は増える一方。ニュー人動かして本来の役割を果たすクルマになる事を忘れなさいませうか。

ハット 思い出しました

二月は年間で全国的にグッと冷え込む時期です。路面凍結、積雪、吹雪(ホワイトアウト)など、道路状況は危険がいっぱい。人もクルマも足元に注意!!

また、販売人にとって二月は売れ行きが低迷する月(二月と八月)だそうです、インフルエンザの流行のおそれもあって、そんな中、受験シーズンでもあり、滑りぬよう

必要な時期なのに、あおり運転、進路妨害、怒鳴り込み、逆走など、一般道、高速道を問わず新たな動画が配信されていますね。悪い許さない! いつも言っている事ですが、捕者もでいるのに、不届き者は増える一方。ニュー人動かして本来の役割を果たすクルマになる事を忘れなさいませうか。

しかし、感情を流され理性を保つ、学習能力の無いドライバーがこんなに居るとは、あく怖ろしや。

二月は年間で全国的にグッと冷え込む時期です。路面凍結、積雪、吹雪(ホワイトアウト)など、道路状況は危険がいっぱい。人もクルマも足元に注意!!

また、販売人にとって二月は売れ行きが低迷する月(二月と八月)だそうです、インフルエンザの流行のおそれもあって、そんな中、受験シーズンでもあり、滑りぬよう

必要な時期なのに、あおり運転、進路妨害、怒鳴り込み、逆走など、一般道、高速道を問わず新たな動画が配信されていますね。悪い許さない! いつも言っている事ですが、捕者もでいるのに、不届き者は増える一方。ニュー人動かして本来の役割を果たすクルマになる事を忘れなさいませうか。

しかし、感情を流され理性を保つ、学習能力の無いドライバーがこんなに居るとは、あく怖ろしや。

雪が少ないので、家の敷地で遊んでま〜す!

昨年末からバイクやキャンプ用品をじわじわと運び込んでいたら、あっといって間にアウト&インドア風に変身してしまった我がカフエ。自宅ではなくここからテント持って旅に出られるようになったからでしょうか、つい先日、私の旅の師匠がひょっこり訪ねてきてくれました。すぐにウェアに写真を載せると、常日頃から憧れているライダー達が次々と現れ、握手攻め! 「40年前に編集部でお会いしました」20年前に南信州で一緒にキャンプしたんです! 「昨年握手できなかったの」など、世代や性別を超えて人気のその人は、1947年生まれのカソリンこと賀曾利隆さん。

賀曾利さんがおそろい一生懸命に思い込んでいたはずのTC250。再会した彼の驚く顔を垣間見れた伊東さん。その劇的な瞬間を、私はカフエでお客さんのサラダ作っていたので見られなかったのですが、見たら泣いちゃったかも。人生は縁と縁の交差点。ひたすら自分の道を歩いてきた人たちが笑顔になるポイントにいられる幸せをたっぷり味わっていた一日でした。

さて、今年の節分は、去年の「災」を打ち払って・・・との思いで目一杯、渾身の力で「鬼は外」と豆まきをした事と思います。そして、多くの人が、東北東に向かって一言も発せず、恵方巻にかぶりついた事でしょう。

また、販売人にとって二月は売れ行きが低迷する月(二月と八月)だそうです、インフルエンザの流行のおそれもあって、そんな中、受験シーズンでもあり、滑りぬよう

必要な時期なのに、あおり運転、進路妨害、怒鳴り込み、逆走など、一般道、高速道を問わず新たな動画が配信されていますね。悪い許さない! いつも言っている事ですが、捕者もでいるのに、不届き者は増える一方。ニュー人動かして本来の役割を果たすクルマになる事を忘れなさいませうか。

しかし、感情を流され理性を保つ、学習能力の無いドライバーがこんなに居るとは、あく怖ろしや。

しかし、感情を流され理性を保つ、学習能力の無いドライバーがこんなに居るとは、あく怖ろしや。



★三好礼子の★ ナチュラル・ロード



毎年会えるのは、『SSTR』という千里浜ゴールのミーティングイベント。ここでも出まわったのは賀曾利さん。



一生の重を使い果たした感じ! レジデント伊東氏、TC250が登場した番組は所さんの笑ってゴラえて! でした。

九州の散歩道

フリージャーナリスト 湯浅玲子

宮崎県の最南端にある都井井は、日向灘に面した草原が続く風光明媚な場所。ほとんど人の手が入っておらず、あちこちで野生の馬たちがのんびり草を食んでいるのが印象的です。この野生馬は、日本に存在する8品種の在来馬のひとつ「御崎馬(みさきうま)」です。大人になっても体高は130cmほどで、体型は希少性から国の天然記念物に指定され、保護対策もとられています。

御崎馬は、もともと人に飼われていたものが野生化したという、少しめずらしい歴史を持っています。約3200年前の江戸時代、宮崎にあった高鍋藩の家が、軍馬を生産するために都井井に牧場を開きました。当時も自然に近い形で放牧が行われ、繁殖も自然にまかされていたそうです。現在まで続く御崎馬の特性は、自然環境に適応して育まれたと考えられています。明治維新後は組合の形で牧場は存続しますが、日常生活で馬を活用することもなくなり、管理は放棄されていきます。こうして野生化した御崎馬は、現在は希少性から国の天然記念物に指定され、保護対策もとられています。

春から夏にかけては繁殖のシーズンを迎え、子馬たちを連れた数頭の群れを見ることが出来ます。緑の草原を歩く御崎馬の向こうには、眼下に広がる日向灘の青い海。とても美しいコントラストです。また朝日や夕陽の美しさも格別。御崎馬のシルエットも映え、写れば種子島や屋久島まで見えることがあります。資料室も併設され、貴重な展示品も見ることが出来ます。絶滅危惧種の植物が自生していたり、天然記念物のソテツの自生北限地があったりと、とにかく自然豊かな都井井。あわただしい日常を離れて、景色や野生馬を眺めながら心の底からのんびりできる場所です。(写真提供:みやざき観光情報 旬ナビ)

のんびりと御崎馬が草を食む都井井の光景

都井井は朝日や夕陽も絶好の撮影スポット

都井井は朝日や夕陽も絶好の撮影スポット

都井井は朝日や夕陽も絶好の撮影スポット

都井井は朝日や夕陽も絶好の撮影スポット

ドライバーレコーダーの次は、歩行者レコーダーが流行か

歩行者レコーダーが流行か

歩行者レコーダーが流行か

歩行者レコーダーが流行か